

国際宇宙環境情報サービス (ISES) と宇宙天気

International Space Environment Service (ISES) and Space Weather

亘 慎一 [1]

Shinichi Watari[1]

[1] 情通機構

[1] NICT

宇宙天気予報を行う国際機関として国際宇宙環境情報サービス (ISES, International Space Environment Service) と呼ばれる組織があり、現在、11カ国が加盟して活動を行っている。ISESには大きく分けて二つのルーツがある。一つは、迅速に国際的なデータ交換を迅速に行うために設けられた URSI Central Committee of URSIgram という組織であり、1928年にパリのエッフェル塔から短波放送によりはじめて情報提供が行われてから今年で80年になる。もう一つは、国際地球観測年 (IGY, International Geophysical Year) の際に共同観測を円滑に進めるために設けられた International World Days Service である。IGY 当時は、各拠点間でコード化された観測データをテレックスにより交換していた。また、各拠点からは短波放送によりモールス信号でコード化されたデータの放送を行っていた。この二つの機関が統合して1962年に作られた IUWDS (International URSIgram and World Days Service) が、1996年に改称して現在の ISES となった。本報告では ISES の歴史と活動について紹介する。